

地方行政サービス改革の取組状況等(令和3年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
093840	栃木県	塩谷町	町村 III-1

(1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村分)委託率
本庁舎の清掃			98.1%	99.6%
本庁舎の夜間警備			97.8%	98.5%
案内・受付			71.4%	89.9%
電話交換			85.7%	92.8%
公用車運転	○	直営のまま継続	85.7%	88.6%
し尿収集			100.0%	98.2%
一般ごみ収集			100.0%	97.5%
学校給食(調理)			69.8%	72.5%
学校給食(運搬)			93.0%	91.2%
学校用務員事務	○	正職員、再任用職員、会計年度任用職員を雇用している。これらの職員がすべて退職された場合、再度検討する。	35.3%	38.0%
水道メーター検針			100.0%	99.0%
道路維持補修・清掃等	○	正職員(現業職)で対応しており、正職員の退職後は、委託に移行する予定。	94.4%	97.1%
ホームヘルパー派遣			94.3%	99.1%
在宅配食サービス			100.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.7%
ホームページ作成・運営			98.0%	97.8%
調査・集計			100.0%	96.3%

※令和3年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(3)窓口業務

総合窓口の設置		窓口業務の民間委託	
設置状況	設置予定無し	委託状況	委託有
BPRの手法を用いた業務分析		【参考】	
取組状況		類似団体	全国(市区町村分)
		総合窓口設置率	委託率
		7.1%	25.0%
		総合窓口設置率	委託率
		14.2%	27.4%

(4)庶務業務の集約化

実施状況	委託状況	対象部局				対象業務				【参考】	
実施予定無し	委託予定無し	首長部局	企業局	教育委員会	その他	給与	旅費	福利厚生	財務会計	類似団体	
										実施率	委託率
										25.0%	0.0%
										全国(市区町村分)	
										実施率	委託率
										33.5%	3.3%

「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

取組状況		業務改革効果	
------	--	--------	--

(2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐に配置している事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村分)導入率
体育館	5	0	0.0%	指定管理料が少額になるため応募が見込めない	0		29.3%	40.1%
競技場(野球場、テニスコート等)	4	0	0.0%	指定管理料が少額になるため応募が見込めない	0		33.7%	48.4%
プール	0	0			0		29.3%	52.0%
海水浴場	0	0			0		0.0%	13.7%
宿泊体養施設(ホテル、国民宿舎等)	0	0			0		80.0%	85.0%
休養施設(公園内、野球場の家等)	0	0			0		82.8%	75.6%
キャンプ場等	2	0	0.0%	規模が小さく、使用料とのバランスから、採算がとれない	0		52.3%	59.2%
産業情報提供施設	0	0			0		57.1%	75.0%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		0.0%	65.8%
開放型研究施設等	0	0			0		0.0%	40.2%
大規模公園	0	0			0		45.5%	44.2%
公営住宅	5	0	0.0%	低所得者を対象とした住宅であり、家賃が低額であることから、事業者の応募が見込めない。	0		6.9%	16.2%
駐車場	1	0	0.0%	主に休憩等の利用なので必要としないため。	0		20.0%	37.1%
大規模霊園、斎場等	2	0	0.0%	直営で運営すべき施設である	0		7.4%	22.8%
図書館	1	0	0.0%	生涯学習センターとの複合施設であるため	1	生涯学習センターと複合施設となっている。施設には生涯学習課職員が常駐しており、図書館の利用規模から会計年度任用職員のみでの対応で十分であるため。	12.8%	20.2%
博物館(博物館、資料館、歴史館、郷土館)	0	0			0		21.6%	28.1%
公民館、市民会館	4	0	0.0%	直営で運営すべき施設である	4	経費削減のため、会計年度任用職員を配置している。	8.5%	22.8%
文化会館	0	0			0		17.2%	51.5%
合宿所、研修所等(青少年の家を含む)	1	0	0.0%	施設老朽化のため、導入には至らない	0		64.3%	50.1%
特別養護老人ホーム	0	0			0		100.0%	74.7%
介護支援センター	0	0			0		11.1%	49.0%
福祉・保健センター	1	0	0.0%	施設管理を社会福祉協議会に委託しているため。	0		43.8%	53.0%
児童クラブ、学童館等	5	0	0.0%	放課後児童クラブの事業自体を業務委託しているため	0		5.0%	24.5%

(5)自治体情報システムのクラウド化

実施済	○	類型	
		自治体クラウド	
		単独クラウド	○

【参考】	
実施率(類似団体)	
自治体クラウド	単独クラウド
87.5%	51.8%
全国	
自治体クラウド	単独クラウド
41.4%	58.6%

(6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	策定予定	
		策定予定時期	

【参考】	
類似団体	全国(市区町村分)
策定割合	策定割合
100.0%	99.9%

(7)地方公会計の整備

作成済	○	作成予定	
		作成完了予定年度	

【参考】	
類似団体	全国(市区町村分)
作成割合	作成割合
76.8%	85.8%

(注1) 統一的な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。

(注2) 「作成済」の※印は、平成30年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により令和元年度中に財務書類の作成を行う団体